学校法人東京電機大学広報誌

11
November 2026
vol.102

TDU Agora

特集 エコキャンパスの情報システム …… 1

CONTENTS

TOPICS
・埼玉県こども動物自然公園「ナイトズー」…… 3
・学生たちの手で“森にアートを”…… 4
──自然と人をつなぐプロジェクト
キャンパスよもやま情報…… 5
News …… 6
Information …… 7



東京千住キャンパス全景

特集

エコキャンパスの情報システム

～東京千住キャンパスのスマートライフを支えるIDカード～

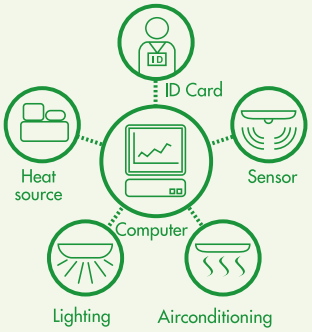


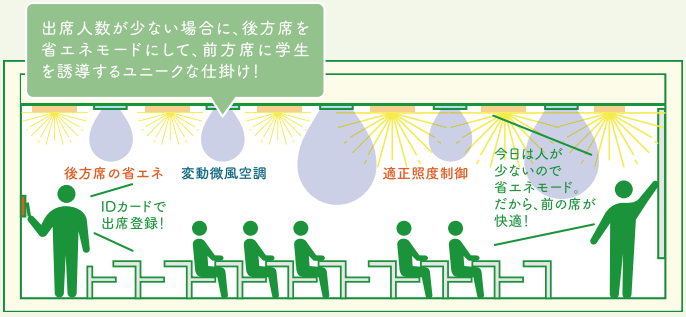
セキュリティゲート

情報システムとの連動

東京千住キャンパス入館時に「ピッ!」とゲートにかざす、IDカード。実はこれ、キャンパス内のシステムと連動しているのを知っていましたか?

「なんか今日、学内暑い(寒い)…」と思ったら、ゲートのタッチ漏れが影響しているかもしれません。館内の空調は入館人数をもとに調整され、授業カリキュラム等による教室等の施設予約管理システムと連動し発停を行っています。



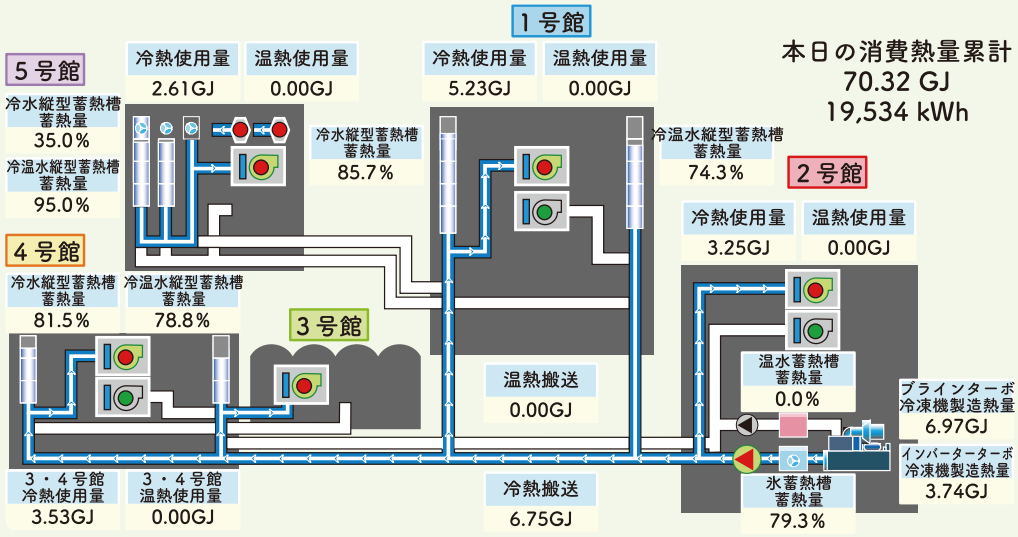


更に、授業の履修者人数や当日の出席者数から、教室の利用人数を判定し、利用人数が少ない場合には後方の空調を停止させ、省エネを図っています。

照明は、授業時間に応じたスケジュールと人感・明るさセンサーを組み合わせた調光制御を行い、授業の履修者人数や当日の出席者数から、教室後方の照度設定を下げて、省エネを図ります。セキュリティ設備と連動した施錠時消灯制御も働いています。

数万点のビッグデータを活用

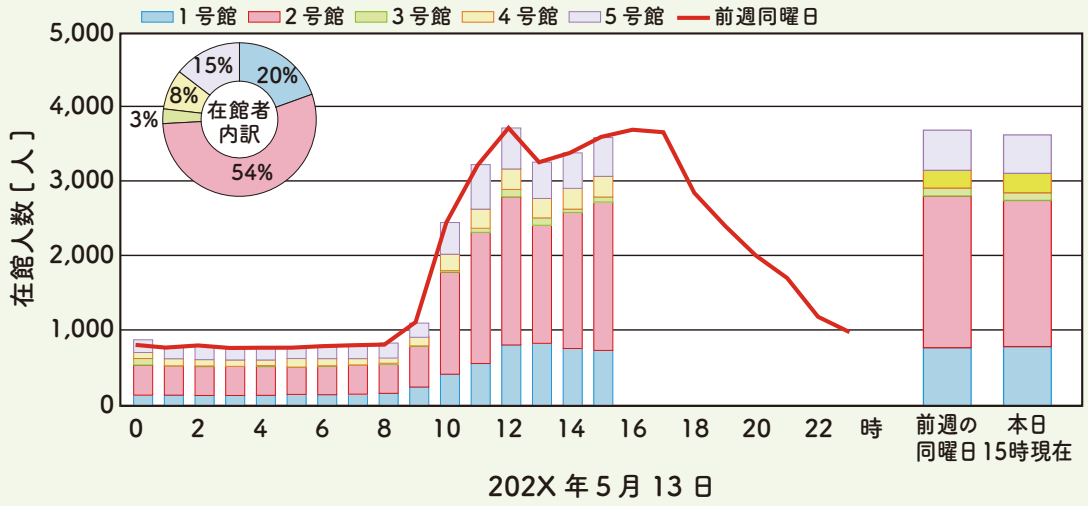
キャンパスの運用を管理するBEMS（ビルエネルギー管理システム）は、空調・熱源・照明・電力・セキュリティなどの複数のサブシステムと連携して、1分または15分間隔で約6万点に及ぶビッグデータを収集・蓄積・分析し、施設運用の継続的な改善に繋げています。



熱の流れの見える化（夏期冷房ピーク）のイメージ

省CO_2技術の“見える化”　デジタル・サイネージ

省エネ技術の効果を学内のデジタル・サイネージ（電子掲示板）でわかりやすく紹介しています。電力使用量、CO_2排出量、水使用量、在館者数を本日、月間、年間状況の提示や過去にさかのぼった比較等の提示もできます。



一日の在館人数イメージ

今日の在館者状況等は、どなたでもご覧になれます。最新情報はこちらから
https ://top.dendai.ac.jp/bems /energy/Zaikan_day.html

また、入館記録は、火災や地震などの災害時に「館内にいる人数」を正確に把握するためのものでもあります。みなさんの安全のためにも、ゲートを通過するときの「ピッ」をよろしくお願いします！

埼玉県こども動物自然公園「ナイトズー」
～理工学部情報システムデザイン学系の学生が協力～

理工学研究科 情報学専攻　阿部愛也さん、川手希美さん、杉村晴さん
理工学部 情報システムデザイン学系　木﨑星斗さん、鈴木麻央さん、松本樹さん、宮口颯太郎さん



来園者の動きに連動し、動物のシルエットが光の中に浮かび上がるイルミネーション

9月に、埼玉県こども動物自然公園と理工学部情報システムデザイン学系の学生が連携し、同動物園「ナイトズー」の各種イベントの実施に協力しました。ナイトズーとは、日中とは異なる動物たちの姿を来園者に楽しんでもらうことを目的としたイベントで、夏の夜、動物たちが活発に動き始める様子を観察するとともに、ライブやイベント、園内のライトアップなどを通して、夜の動物園ならではの雰囲気を楽しむことができるものです。

この取り組みは、情報システムデザイン学系 勝本雄一朗教授の授業の一環として、地域施設と連携する実践的な学びの機会として2024年より実施しています。学生たちは、動物園という空間の特性を生かしながら、夜の動物園を訪れる来園者に新たな楽しみや発見を提供することを目指し、ナイトズーならではの空間づくりを行いました。

参加した7名の学生はイルミネーションの企画から制作、演出、保守まで一貫して関わり、主に2つのコンテンツを制作しました。制作にあたり学生は、動物たちの観察を妨げることなく、夜ならではの魅力を感じてもらえる園内演出、光やイベントの配置について考えながら企画・制作を進める実践力を身につけることを目指しました。本学では今後も、大学で培う「技術」を社会や地域の課題解決につなげる取り組みを推進するとともに、学生が実社会の課題に触れ、主体的に考え、実践する機会を積極的に創出していきます。



来園者のジェスチャーに応じて、プロジェクターで投影されたスクリーン上に動物たちが現れ、動物と触れ合っているような体験ができるインタラクティブコンテンツ

学生たちの手で“森にアートを”—自然と人をつなぐプロジェクト
～笹谷研究室が「Wood Structure Artの森」プロジェクトに参画～

未来科学部 建築学科　建築構造研究室



笹谷研究室（建築構造研究室）は、栃木県さくら市「喜連川ファミリーキャンプ場」で進行中の「Wood Structure Artの森」プロジェクトに参画しています。2024年にスタートしたこのプロジェクトは、東京電機大学・共立女子大学・北海学園大学の3大学が連携し、栃木県産の木材を活用してアート作品をつくる取り組み。地球温暖化防止や林業の活性化を謀り、2028年に“アートの森”の完成を目標としています。

今年は3大学から20名を超える参加者が集まり、4月の現地調査にてそれぞれデザインを立案しました。数回の進捗報告会を経て、7月の選考会にて選ばれた案を参加者が共同で制作。2つの作品は学生のデザイン・ビルドであるだけでなく、材料調達・コスト・工程までを学生が分担しました。さらに、アート作品の構造性能を把握するための実験や解析を経て、9月に完成報告会を迎えました。


Artの森のエントランス、地元の竹と木材を用いたハイブリッドストラクチャー「テクチク」


Artの森の全体を俯瞰できる休憩スペース、地元木材の一般流通材を用いた離散構造「巣ごもり」






東京千住キャンパス

電大de学びピアコンサート



10月17日、「100周年ホール」にて足立区生涯学習センター主催、電大de学びピアコンサート「昼下がりの弦楽四重奏」を開催しました。「電大de学びピアコンサート」は、毎年秋に開催される恒例の演奏会です。

今回は、ヴァイオリニストの上薗綾奈さんと野上純さん、ヴィオリストの川上拓人さん、チェリストの河野明敏さんの4人の弦楽器奏者による、クラシックとポップスの演奏会となりました。近隣の地域の方々がキャンパスに集い、美しい音色に耳を傾けました。

（総務部　渡辺）

埼玉鳩山キャンパス

TDU 産学交流会デジタルサイネージ設置





10月1日、埼玉鳩山キャンパス本館（10号館）1階エントランスホールと9号館2階学生ラウンジに1台ずつ「TDU産学交流会会員企業紹介デジタルサイネージ」が設置されました。本事業は、学生制作による会員企業紹介デジタルサイネージ事業として、理工学部情報システムデザイン学系 柴山拓郎教授、大場久恵助教、佐藤英里子先生の指導の下、情報システムデザイン学系の有志学生12名が4月末から取り組んできたもので、参加学生にとって、企業研究の仕方、取材の心得、映像構成、色彩設計に至るまでの過程を通じ、モノづくりの技術に表現力という新しい側面を加えるよい経験になりました。

（理工学部事務部　高山）

東京小金井キャンパス　中学校・高等学校

TOKYO GLOBAL GATEWAY



中学校では例年この時期に、学年別に見学会を行っています。今年中学校3年生は10月17日にお台場のTOKYO GLOBAL GATEWAYで、まる一日英語体験をしてきました。小人数のグループに分かれ、空港のカウンターで搭乗手続きをしたり、放送局のスタジオで番組制作をしたりと、本物を模したさまざまなブースで英語を使う体験ができる施設です。はじめは恥ずかしがって後ろに隠れるようにしていても最後には堂々と英語を話すようになっていく姿を見ると、多感な時期にこのような体験をさせることはとても有意義だと実感します。

（中3学年主任　加藤）

ピックアップ！出版局

TDU 電機大出版局

★出版局より、新刊の紹介や話題の本、イベントなどのホットな情報を掲載！

今回は、本学教育教授の新刊をご紹介！



創造原論 ―社会科学から導いたデザインのための五つの原理

伊勢史郎 著（本学システムデザイン工学部教育教授） ISBN:978-4-501-63650-0
四六判・288頁 定価3,520円

デザインを社会に送り出す意味を問うツールとして、社会科学の五つの原理（暗黙知・ブリコルール・中心と周縁・過剰と蕩尽・贈与）を解説。

＜ピックアップ！ 教科書＞

2026年度後期の教科書における売上良好書を取り上げました！



電気法規と電気施設管理 令和8年度版

竹野正二・浅賀光明 著 ISBN:978-4-501-11950-8 A5判・346頁 定価3,080円

電気施設管理の最新データへの更新や最近の動向について内容を見直し加筆修正して改訂した。



はじめての振動工学

藤田聡（本学名誉教授）・古屋治（本学理工学部教授）・皆川佳祐 著
ISBN:978-4-501-42020-8 A5判・176頁 定価2,750円

振動工学における一自由度系の振動に特化して解説。基礎の理解と応用力の養成に力点を置く。



AIリテラシーの教科書

浅岡伴夫・松田雄馬・中松正樹 著 ISBN:978-4-501-55750-8 A5判・232頁 定価2,860円

AI（人工知能）の知識を正しく理解し、適切に使いこなすことを目的とした教科書。

★出版局ではメールマガジンを配信しております。ご希望の方は、右記URLよりご登録ください！
https://web.tdupress.jp/mailmagazine/



偉人の履歴書 vol.35

「時間の浪費ほど我慢がならないものはない」

X線で原子番号の謎を解き明かした

ヘンリー・モーズリー

Henry Moseley

●1887-1915

1887年	イギリス・ウェーマスで生まれる。
1906年	オックスフォード大学に入学。
1910年	大学卒業後、ラザフォードのいるマンチェスター大学で研究を始める。
1912年	特性X線と原子番号を系統的に測定する。
1914年	39の元素の特性X線を測定。モーズリーの法則を発表する。これは未知の元素を予測していた。同年、第一次世界大戦に参加する。
1915年	ガリポリ半島の戦いで戦死。
1923年	モーズリーの予測した元素が発見され、翌々年にも発見される。
1925年	モーズリーの業績をノーベル賞委員会が評価する。

東京電機大学編『偉人たちの挑戦3』東京電機大学出版局, 2022年, p15. イラスト:宮島幸次

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

逝きし友憶いて酌まん雨月かな　知多（絹川博之）

レッカー車大忙しの秋出水　明（井川明）

秋風を背中に浴びて八十路坂　英次（武田英次）

Information

東京電機大学　未来科学部　イブニングセミナー

「都市・建築・ストリートファニチャーをつなぐ ―数値で感覚をデザインする色彩計画―」を開催

事前申込 先着順 定員190名 参加無料

日時：12月18日（金）18:30／於：足立区生涯学習センター

講師 **加藤幸枝氏**（色彩計画家）

東京電機大学（学長 射場本忠彦）は、12月18日(金)、足立区生涯学習センターにて、色彩計画家の加藤幸枝 氏を講師に迎え、未来科学部 イブニングセミナー*を開催します。

加藤氏は、建築の内外装をはじめ、ランドスケープ、土木、照明、サイン計画をトータルにつなぐ色彩計画を専門とし、空間全体の調和や地域特性に即した色彩設計を実践しています。また自治体の景観審議会委員なども務め、公共施設や都市景観における色彩計画の協議にも関わっています。

本講演では「都市・建築・ストリートファニチャーをつなぐ ―数値で感覚をデザインする色彩計画―」と題して、お話しいただきます。



東豊中第二団地・外壁修繕



環境色のカラーハンティング

●開催概要（予定）

日　時　　2026年12月18日（金）18:30 ～ 20:00
会　場　　足立区生涯学習センター 講堂（東京都足立区千住5-13-5　学びピア21 4F）
演　題　　都市・建築・ストリートファニチャーをつなぐ
　　―数値で感覚をデザインする色彩計画―
講　師　　加藤幸枝 氏（色彩計画家／有限会社クリマ 代表取締役）
対　象　　16歳以上の方
定　員　　190名（事前申込・先着順）
参加費　　無料
主　催　　東京電機大学 未来科学部



加藤幸枝 氏

●お申し込み方法

足立区生涯学習センターに電話、直接窓口、またはインターネット
［電話］03-5813-3730
［住所］〒120-0034　東京都足立区千住5-13-5　学びピア21　4F
［インターネット］「近所deまなびナビ」で検索
・申し込み締め切り：12月11日（金）　＊定員に達し次第締め切り

＊その他、イベントに関するお問い合わせは、足立区生涯学習センターにご連絡ください。

編集後記

気温が下がり、キャンパスの街路樹も一気に色づきました。

四季の移り変わりは、私たちの生活、文化、食卓に深く関わっています。しかし、日本の四季は春と秋が短くなり、夏が長く過酷になる「二季化」傾向が進んでいると言われています。四季の恵みに感謝して、一時の秋を楽しみましょう。

TDU
学校法人東京電機大学　（総務部企画広報担当）
〒 120-8551 東京都足立区千住旭町5番
TEL. 03-5284-5125　FAX. 03-5284-5180
E-mail:soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp
https://www.dendai.ac.jp/

PRINTED WITH SOY INK 大豆油インク使用 この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷 されています。